



■子どもの行動の例

ふざけた言葉ばかりで、なかなか「おはよう」と言わない。



例) 「おはよう」と言わない場面

■うちの子のできているところを探しましょう！

	できる	時々できる	できない
食卓にくる	●		
「おはよう」と言うと「おはよう」と返す		●	
自分から「おはよう」と言う		●	
きょうだい仲が良い	●		

「ゆうと君、可愛い」



「ゆうと君、おもしろい!!」

子育てヒント

学びにくい環境(混乱させる態度)

親が子どもに対して、指示の内容と違う態度で対応していることがあります。

例えば、子どもに「していることをやめなさい」と言いながら笑ったり微笑む。また「何度言っても食べないなら食べなくていいよ」というが本当に子どもが食べないと親は怒ってしまう。

今回の例では、親が「おはよう」と言うことを教えたいと思っても、ゆうと君のふざけたダジャレに家族が可愛いと笑っています。このような状況では、親が注意していることが伝わらず、ゆうと君に正しい行動を教えることや学ぶことが難しくなります。

できれば家族で協力して何が正しいかを教えていく環境を整えていくことが望ましいでしょう。



例題の「おはよう」と言わないで考えてみましょう。

■前向き子育てのコツ **描写的にほめる** (「子育て手帳」P.20 参考にしましょう)

増やしてほしい行動を見つけたら、その場でほめましょう。増やしてほしい行動がある時は子どもに近づいて、具体的にその行動を繰り返しほめます。 例)「ゆうと君、トイレに行けたね」「ゆうと君、顔を洗えたね」など。

■ 子どもに注目(声かけ)している場面はどこでしょうか？

増やしてほしい行動と減らしてほしい行動を分けて認め(ほめ)ていきましょう。

ママがゆうと君に声掛けすると、**すぐに一人で、トイレに行って、顔を洗ってから、ニコニコ顔で**リビングに来ます。最近のマイブームの「**こんばんワン**」と言って登場すると、お姉ちゃん達が喜んで、ゆうと君にかけ寄ります。いつも、**ゆうと君を中心にきょうだい仲が良く、かわいい**とは思っていますが、朝は「おはよう」とあいさつをしてほしいです。

今回の例のように、ふざけた言葉にお姉ちゃん達が注目して喜ぶと、ゆうと君が朝の挨拶を身につけるのは難しくなるでしょう。お姉ちゃん達の協力を得られるのであれば、ゆうと君のふざけた言葉でなく「おはよう」が言えた時に認め(ほめ)てもらいましょう。また、お姉ちゃん達が協力してくれたら、ほめるようにしましょう。家族の協力は大きいです。

■前向き子育てのコツ **計画的な無視(減らしたい行動に意図的に注目をしない)**

(「子育て手帳」P.34 参考にしましょう)



子どもの間違っただけの行動にはすぐに対応し、好ましい行動を教えることが大切です。それを手助けする1つの方法に「計画的な無視」があります。減らしたい行動に意図的に注目をしないことにより、子ども自身自分がどうすれば良いか理解し、好ましい行動が期待できます。ぐずぐず言う、変な声を出すなどの小さい問題行動に使います。

■使い方

減らしたい行動をしている間は無視

- ・子どもを見ない。
- ・子どもと話さない。
- ・しぐさや顔の表情でも何も伝えない。
- ・必要なら深呼吸。

子どもが問題行動をやめ、
ふさわしい行動をしたらほめます。



「ゆうと君、おはようが上手に言えたね」



「子育て手帳」は、市が開催する「おはなし会」に参加いただいた時に配布しています。

市の「前向き子育て応援事業」の情報はコチラ

■お問い合わせ 子ども未来課 子育て支援係 ☎ 28-7568

(前向き子育て 担当 石橋)

科学研究費助成事業(責任者 福岡県立大学 江上千代美)

無断複写・複製を禁ず



今月の定期便についての感想や質問をお聞かせください。

